

1

第4章 近世の日本

ヨーロッパ人との出会いと全国統一(1)

学習1 キリスト教とイスラム教

- 4世紀に分裂したローマ帝国のうち、西ローマ帝国は5世紀にほろびました。その後の西ヨーロッパは国々が争う中世となり、キリスト教が人々の考え方や生活に大きな影響をあたえていました。
- キリスト教は、ビザンツ帝国〔東ローマ帝国〕と結び付いた正教会と、西ヨーロッパのカトリック教会に分かれました。
- 7世紀にアラビア半島で成立したイスラム帝国は、ペルシャ(現在のイラン)からイベリア半島まで支配しました。8世紀にイスラム帝国はフランスに進出しようとして、戦いに敗れました。
- その後、15世紀にオスマン帝国がビザンツ帝国をほろぼし、16世紀にはインドでムガル帝国が成立しました。インド洋ではムスリム〔イスラム教徒〕の商人が交易を担っていました。
- 11世紀にイスラム勢力が聖地エルサレムを占領すると、ローマ教皇は西ヨーロッパ諸国に十字軍の派遣を呼びかけて、エルサレムをキリスト教世界に奪回しようとしたましたが、失敗しました。

用語 * ローマ教皇…カトリック教会の頂点。大きな権威を持った。

学習2 宗教改革

- 16世紀にローマ教皇が免罪符を販売して資金集めを行うと、ドイツでルター、スイスでカルバンがこれを批判し、宗教改革を始めました。かれらは聖書を信仰の中心にして教会の改革を進め、プロテスタント(抗議する者という意味)という勢力を作りました。
- 一方、カトリック教会はプロテスタントに対抗してイエズス会を作り、宣教師をアジアなどへ派遣して布教活動を行いました。

用語 * 免罪符…これを買えば、全ての罪が許されるとされた。

学習3 ヨーロッパ人の世界進出

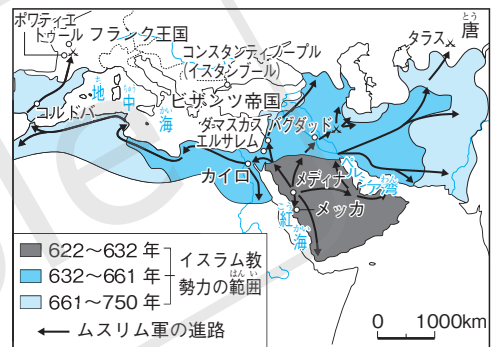
- キリスト教の布教や、アジアの香辛料などの獲得のためにポルトガルとスペインが新航路を開拓して、大航海時代が始まりました。
- ポルトガルのバスコ・ダ・ガマが、1498年にインドに到達したことで、ヨーロッパとインドを直接結ぶ海路が開かれました。
- スペインに支援されたコロンブスは1492年に大西洋を横断して、カリブ海の島に到達しました。アメリカ大陸にわたったスペイン人は、先住民の支配者をほろぼして植民地にしました。かれらは先住民を働かせて銀の鉱山の開発などを行い、のちに大西洋の三

▼サン・ピエトロ大聖堂



※現在のバチカン市国にある、カトリック教会の総本山です。

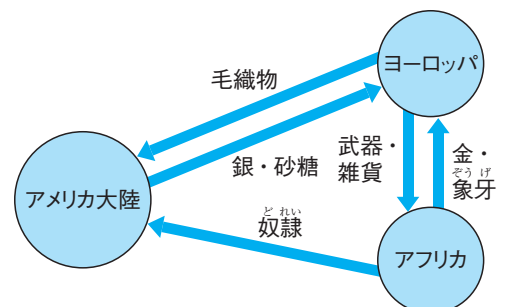
▼イスラム帝国の拡大



▼ルター(左)とカルバン(右)



▼大西洋の三角貿易



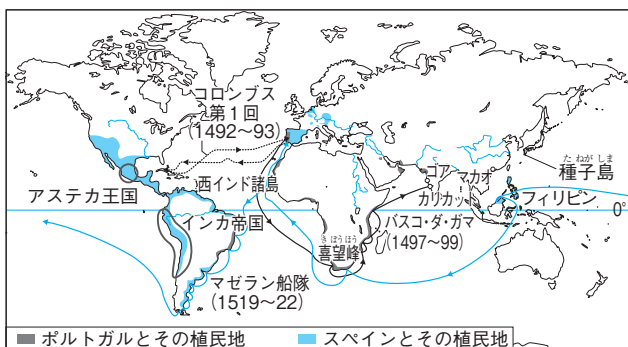
※スペインは、大西洋を囲む3つの大陸にまたがる貿易を行いました。

角貿易で連れてきたアフリカの人々を奴隷として働かせました。

□16世紀、初めて世界一周を達成したマゼランの船隊を支援したスペインは、アメリカ大陸やアジアに植民地を広げて「日のしずむことのない帝国」といわれました。

□16世紀末に、スペインから独立したオランダは東インド会社を設立して、アジアで貿易を行いました。貿易によって栄えたオランダは、ヨーロッパの商業・金融の中心になりました。

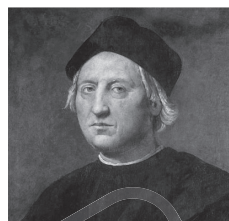
▼新航路の開拓



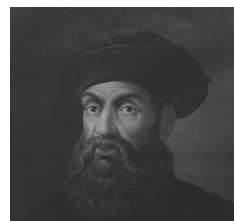
▼インカ帝国のマチュピチュ遺跡



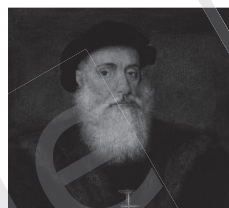
▼コロンブス



▼マゼラン



▼バスコ・ダ・ガマ



学習4 キリスト教と鉄砲の伝来

□1543年、種子島(鹿児島県)に流れ着いた中国人の倭寇の船に乗っていたポルトガル人により、日本に鉄砲が伝えられました。堺(大阪府)や国友(滋賀県)の刀鍛冶が鉄砲の生産を始めると、戦国大名の戦い方が変わり、全国統一への動きが早まりました。

□1549年、イエズス会の宣教師ザビエルが日本にキリスト教を伝えました。その後、多くの宣教師が来日して布教や慈善事業を行ったため、日本でキリシタンと呼ばれる信者が増えました。

□日本ではポルトガル人やスペイン人を南蛮人と呼んでいたため、かれらとの貿易を南蛮貿易といいます。南蛮貿易によって、日本は明の生糸や絹織物などを輸入し、おもに銀を輸出しました。

□九州では、南蛮貿易の利益を得るために自らキリスト教の信者になるキリシタン大名が現れました。肥前(長崎県)の大村氏がイエズス会に寄進した長崎は、南蛮貿易の中心地になりました。

□1582年、大友宗麟などのキリシタン大名がローマ教皇のもとへ少年4人を使節として送りました。これを天正遣欧使節といいます。

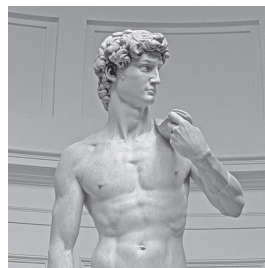
▼堺の鉄砲鍛冶と商人の店



▼ザビエル



▼ミケランジェロの「ダビデ像」



学習5 文化・宗教・生活

□イスラム世界からヨーロッパに伝えられた古代ギリシャの文化は、ペスト[黒死病]からの復興をめざす人々に影響をあたえました。

□14~16世紀、人間の価値を認め、いきいきした姿を表現しようとするルネサンス[文芸復興]が盛んになり、イタリアから西ヨーロッパの各地に広がりました。

確認問題

1 ●年表で時代の流れをつかもう● ()にあてはまる語を書きなさい。

時代	年代	できごと
室町(戦国)	395	ローマ帝国が東西に分裂する→(①)は5世紀にほろびる
	7世紀	アラビア半島で(②)が成立する
	11世紀	イスラム勢力がエルサレムを占領する
	1096	ローマ教皇の呼びかけで(③)の遠征が始まる(最終的には失敗)
	1453	オスマン帝国がビザンツ帝国をほろぼす
	1492	コロンブスがカリブ海の島に到達する
	1498	(④)がアフリカの南端を回る航路でインドに到達する
	1517	ドイツで(⑤)が宗教改革を始める
	1519	(⑥)の船隊が世界一周の航海に出発する(~22)
	1526	インドで(⑦)が成立する
安土桃山	1541	スイスでカルバンが宗教改革を始める
	1543	(⑧)に漂着したポルトガル人が日本に鉄砲を伝える
	1549	イエズス会の宣教師(⑨)が日本にキリスト教を伝える
	1581	スペインからオランダが独立する
	1582	大友宗麟らが4人の少年をローマに派遣する=(⑩)使節

- ① []
- ② []
- ③ []
- ④ []
- ⑤ []
- ⑥ []
- ⑦ []
- ⑧ []
- ⑨ []
- ⑩ []

2 ●一問一答● 次の問いに答えなさい。

- (1) カトリック教会の頂点として大きな権威があり、西ヨーロッパ諸国の国王を服従させることも行った者を何というか。 []
- (2) インド洋の交易はイスラム教徒の商人が主な担い手になったが、イスラム教徒は何と呼ばれていたか。 []
- (3) (1)が大聖堂の建築資金を集めるために販売した、これを買えば全ての罪が許されるとしたお札を何というか。 []
- (4) 宗教改革を受け入れたプロテスタントの人々は、何を信仰のよりどころとしたか。 []
- (5) 羅針盤が実用化され、航海術が進化したことで、ポルトガルやスペインによる新航路の開拓によってヨーロッパ人が海外に進出していった時代を何というか。 []
- (6) (5)の先がけになったポルトガルやスペインは、アジアに直接おもむいてこしょうやクローブ、ナツメグなどを手に入れることを目的にしていた。調味料や薬として用いられていたこれらの品物をまとめて何というか。 []
- (7) スペインはアメリカ大陸の大部分に勢力を築き、その地域の先住民を使役して鉱山の開発や作物の栽培を行っていた。このような地域を何というか。 []
- (8) 日本で貿易を行っていたポルトガル人やスペイン人は、何と呼ばれていたか。 []
- (9) 南蛮貿易の利益に着目して、自分の領地に(8)を呼び入れるために、みずからキリスト教に改宗した九州の戦国大名を何というか。 []
- (10) 14世紀から16世紀にかけて、西ヨーロッパでは人間の価値を認めて、そのいきいきとした姿を表現する文芸復興が盛んになった。この文芸復興のことを何というか。 []

基本問題

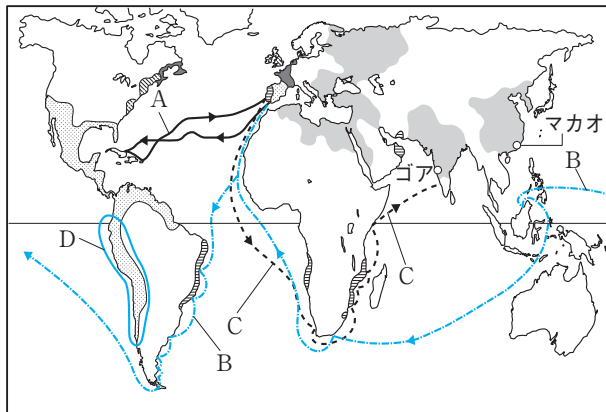
1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 地図中のA～Cは、15～16世紀に開かれた新しい航路である。それぞれの航路と最も関係の深い人物の名を、次の文を参考にしてそれぞれ書け。

A 西まわりでアジアに向かおうとして、カリブ海の島に到達した。

B 世界周航に出発し、かれの船隊が3年がかりで世界一周に成功した。

C アフリカの南端を回る航路を利用して、ヨーロッパからインドに到達した。



□(2) 地図中のゴアやマカオなどを拠点として中継貿易を行い、大きな利益をあげていたヨーロッパの国はどこか。

□(3) アメリカ大陸に進出して広大な植民地を獲得し、銀や砂糖などをヨーロッパに輸入して大きな利益をあげていた国はどこか。

□(4) (3)によってほろぼされた、地図中のDにあった帝国を何というか。

□(5) A～Cの航路が開かれた時代、ヨーロッパでは古代ギリシャの文化を手がかりにして、新しい考え方に基づく文化の動きが広がっていた。こうした動きを何というか。

1

	A	
(1)	B	
	C	
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

2 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 右の資料は、堺の町にあった、武器をつくる鍛冶職人と商人の店のようである。この武器を何というか。

□(2) (1)は1543年、種子島に漂着した中国船に乗っていた()人により、初めて日本に伝えられた。()にあてはまる国の名を書け。



□(3) (1)の伝来後、九州各地には(2)やスペインの船が来航し、貿易を行うようになった。この貿易を何というか。

□(4) (1)の伝来の6年後、鹿児島に上陸して日本にキリスト教を伝えたスペイン人はだれか。

□(5) (4)は、ある組織の宣教師であった。その組織の名を書け。

□(6) (5)は、当時ヨーロッパで広がっていた教会の改革運動に対抗するため、カトリック教会側が作った組織である。その「改革運動」を何というか。漢字4字で答えよ。

□(7) 1517年、教会の免罪符販売を批判し、教会の指導に従わないで聖書を信仰の中心とすることを主張し、(6)を始めたドイツの人物はだれか。

2

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	

練習問題

1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

ローマ帝国が東西に分裂したのち、ヨーロッパ全体を支配する国はなくなり、多くの国々が成立した。その中で a キリスト教会は各国の王や貴族などと結び付き、大きな力を持った。このうち、西ヨーロッパでは、 b ローマ教皇を頂点とする教会が、人々の精神的なよりどころになった。

一方、7世紀にアラビア半島で (①) が開いたイスラム教は西アジアから北アフリカ、 c ヨーロッパの半島などに広がり、その勢力は大帝国を築いた。11世紀にこうしたイスラム勢力により聖地 (②) が占領されると、危機感をいだいた教皇は (②) を奪回することを呼びかけた。これに応じて d 西ヨーロッパ諸国の王や貴族たちは軍隊を派遣した。派遣は13世紀まで行われ、結局失敗に終わったが、これをきっかけに東西の交流が活発化したので、イスラムの文化がヨーロッパにさまざまな影響をあたえた。

□(1) (①) にあてはまる人名と、(②) にあてはまる地名を書け。

□(2) 下線部 a のうち、ビザンツ帝国と結び付いた宗派を何というか。

□(3) 下線部 b を何というか。

□(4) 下線部 c について、イスラム教が広がった半島を、次のア～ウから1つ選べ。

ア イタリア半島 イ イベリア半島 ウ スカンジナビア半島

□(5) 下線部 d の軍隊を何というか。

1

(1)	①	
	②	
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

A 古代ギリシャの哲学や科学は、アラビア語に翻訳され、イスラム世界に伝えられていたが、東西の交流が活発化し、イスラムの物産や文化が流入するのにもとまらぬ、古代ギリシャの文化がふたたび西ヨーロッパに持ちこまれることになった。その結果、人間性を重視した新しい文化が生まれ、芸術や科学が発達することとなった。

B 16世紀前半、ドイツの (④) は、教会が行っていた (①) 販売に抗議する意見書を発表し、多くの人々の支持を得た。(④) はまた、「人は信仰のみによって救われる」として、(②) を自分で読んで理解すべきだと主張した。同じころ、スイスで (③) もそれまでの教会のあり方を批判し、これを改革する運動を進めた。(④) や (③) を支持する人々は (⑤) と呼ばれ、新しい宗派を形成した。

□(1) A の文で述べられている動きは、忘れられていた古代の文芸が復興(再生)したという意味から、何と呼ばれているか。カタカナで書け。

□(2) A の動きが最も早くおこった国を、次のア～エから1つ選べ。

ア イギリス イ フランス ウ ドイツ エ イタリア

□(3) A の時代に広まり、航海術の発展に大きく貢献したものを、次のア～エから1つ選べ。

ア 活版印刷 イ 羅針盤 ウ 火薬 エ 紙

□(4) B の文で述べられている動きは何と呼ばれるか。

□(5) B の文中の (④)、(③) にあてはまる人名を書け。

□(6) B の文中の (①) ～ (③) にあてはまる語句を書け。

□(7) (4) の動きに対抗して、カトリック教会側でも改革の動きが見られた。このうち、ザビエルなどの宣教師が参加した組織を何というか。

2

(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)	④	
	③	
(6)	①	
	②	
	③	
(7)		

③ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

アジアとの貿易は、長い間、ムスリム商人によって独占されていたため、ヨーロッパの人々はアジアと直接貿易を行い、アジアの物産、特に(A)を手に入れることを強く望んだ。こうした背景に加え、航海術が進歩したこともあり、15～16世紀には、a ヨーロッパからアジアなどに向かう新しい航路が開拓された。

やがて(①)は、ゴアやマカオなどを拠点として中継貿易を行い、日本とも貿易を行うようになった。一方、(②)はアメリカ大陸に進出し、その大部分を植民地にするるとともに、b ヨーロッパ、アフリカ、アメリカの各大陸間で貿易を行って、大きな利益をあげた。そして(②)はアジアでもフィリピンに進出するなど、世界各地に勢力を広げた。しかし、17世紀になると、(②)から独立した(③)がヨーロッパの商業や金融の中心となり、東インド会社を設立してアジアにも進出するようになった。

□(1) 文中の(A)に最もあてはまる品目を、次のア～エから1つ選べ。

- ア 銀 イ 香辛料 ウ 毛織物 エ 砂糖

□(2) 文中の(①)～(③)にあてはまる国名を、それぞれ書け。

(3) 下線部 a について、次のA～Cにあてはまる人名をそれぞれ書け。

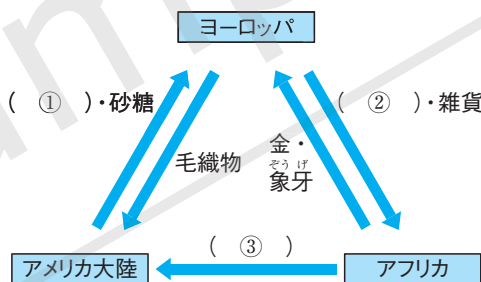
- A 1492年、大西洋を横断してカリブ海の島に到達した。その後も3回にわたり、新大陸にわたったが、彼自身はそこがインド(アジア)の一部だと信じていた。
- B 1498年、アフリカ南端を回る航路を通してインドに到達した。これをきっかけに、ヨーロッパから直接アジアに向かう航路が盛んに利用されるようになった。
- C 1519年、西まわりの航路で世界周航に出発した。彼自身はフィリピンで戦死したが、その部下たちが率いた船隊は3年がかりで世界一周に成功した。

□(4) 下線部 b について、右の図はこの貿易

の仕組みを表したものである。図中の①

～③にあてはまる品目を、次のア～エから1つずつ選べ。

- ア 銀 イ 奴隷
ウ 茶 エ 武器



④ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

1543年、(①)島に中国船が流れ着き、乗っていた(②)人により、日本に鉄砲が伝えられた。鉄砲は戦国大名たちに注目され、堺(大阪府)や国友(滋賀県)などで生産されて、短期間で各地に広まり、a 戦い方や築城様式に変化をもたらした。

さらに1549年、イエズス会の宣教師(③)が鹿児島島に来航し、日本にキリスト教を伝えた。(③)は山口や豊後府内(大分県)などで布教活動を行い、2年余りで日本を離れたが、その後も宣教師たちの活動が続けられ、各地にキリスト教徒が増えていった。

こうして日本のことがヨーロッパに知られるようになり、九州各地に(②)船や(④)船が来航し、b 貿易を行うようになった。(②)人や(④)人のことを当時(⑤)人と呼んでいたことから、この貿易は(⑤)貿易と呼ばれる。

□(1) 文中の①～⑤にあてはまることばを書け。

□(2) **表現力** 下線部 a について、このことは日本の社会にどのような影響をあたえたか。

「統一」、「促進」という語句を用いて、簡潔に説明せよ。

□(3) 下線部 b において、日本の主な輸出品であった鉱産資源は何か。

③

(1)	
(2)	①
	②
	③
(3)	A
	B
	C
(4)	①
	②
	③

④

(1)	①
	②
	③
	④
	⑤
(2)	
(3)	